

2026年1月21日

お客さま各位

## 信用金庫の役員等を騙った不審メールに関する注意喚起について

平素より格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

現在、信用金庫の理事長や役員等の代表者を騙り、「業務プロジェクト対応のためのLINEグループ作成」を依頼する不審メールが信用金庫職員宛のみならず、お客さまに対しても送信されていることが確認されています。当金庫からこのようなLINEグループ作成をお願いすることは絶対にございませぬ。

不審メールの指示に従い、LINEグループを作成したうえでメールへの返信を行うと、振込の要求等が行われます。このような不審メールの指示に従うと、金銭的な被害に遭う恐れや、コンピュータウイルスに感染する恐れがありますので、不審メール受信時には、添付ファイルの開封やリンク等を開かず削除するようお願いします。

### ■ ご相談窓口

中栄信用金庫 事務部

電話番号：0463-81-1852（平日9：00～17：00）

お客さまの大切な資産を守るため、十分にご注意くださいますようお願い申し上げます。

以上

※不審メールの事例①～③を掲出してあります。下にスクロールのうえご参照ください。

## 「LINEグループの作成を求める不審なEメール」 (信用金庫の代表者を騙る不審なメール事例①)

差出人：●● ●● < x x x x @ x x x x >

件名：□□信用金庫

本文：  
お疲れ様です。  
本メールを受信されましたら、今後の業務プロジェクト対応のため、新しいLINEのワークグループを作成していただけますでしょうか。  
グループへの他のメンバーの追加につきましては、私が参加した後に手配いたしますので、先に招待は行わないようお願いいたします。  
グループ作成が完了しましたら、当該グループの招待用QRコード（または招待リンク）を発行のうえ、本メールにご返信いただけますと幸いです。  
私がQRコードからグループに参加し、その後の業務調整を進めさせていただきます。  
お手数をおかけいたしますが、何卒よろしくをお願いいたします。

---

代表取締役社長  
●● ●●  
□□信用金庫

・差出人の「●● ●●」には金庫の役員名が記載されている  
・メールアドレスはランダム

・件名の「□□信用金庫」には金庫名が記載されている

・署名の「●● ●●」には金庫の役員名が、  
「□□信用金庫」には金庫名が記載されている

## 「LINEグループの作成を求める不審なEメール」 (信用金庫の代表者を騙る不審なメール事例②)

差出人：代表取締役<x x x x @ x x x >

・メールアドレスはランダム

件名：□□信用金庫 — ●● ●●

・件名の「□□信用金庫」には金庫名が、  
「●● ●●」には金庫の役員名が記載されている

本文：

メールを受け取った後、

今後の業務プロジェクトに対応するため、新しいLINEのワークグループの作成をお願いいたします。

グループへの他のメンバーの追加は、私が参加した後に行います。

グループ作成が完了しましたら、そのグループのQRコードを生成し、このメールにご返信ください。

私がQRコードからグループに参加し、その後の業務調整を進めさせていただきます。

お手数をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

## 「LINEグループの作成を求める不審なEメール」 (信用金庫の代表者を騙る不審なメール事例③)

差出人：●● ●● < x x x x @ x x x x >

件名：□□信用金庫

- ・差出人の「●● ●●」には金庫の役員名が記載されている
- ・メールアドレスはランダム

- ・件名の「□□信用金庫」には金庫名が記載されている

本文：

業務の都合で、会社のLINEグループを作ってもらえますか？  
財務担当の方も一緒に入れてもらえると助かります。

グループができたら、  
参加用のQRコードをメールで送ってください。  
こちらから参加して、段取りを進めます。